

中国語 (Chinese)

中国語初級 (Elementary Chinese)

(総科 ((総科 A)1 年))

田中智行・准教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

1 単位 後期 月 5・6

(平成 19 年度以前の授業科目: 『中国語初級』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『中国語 (1)』)

(ペア指定: 中国語初級 (総科 ((総科 A)1 年)) 李 / 後期 水 1・2 ⇒ ??頁)

【授業の目的】 「普通話」と呼ばれる現代標準中国語を学ぶことを目的とします。現在、世界の約 5 分の 1 の人々が中国語を使用しています。中国語には多くの方言がありますが、「普通話」は中国国内のみならず世界各地の華人社会の共通語であり、国連の公用語のひとつともなっています。国際的舞台上で大変役立つ言語です。

【授業の概要】 中国語入門 (前期開講) に引き続き、基本文型を学びます。文法を理解し、少しずつ語彙を増やし、簡単な日常会話もできるようになるでしょう。上記の目標を達成するため、週二回の授業を二人の教員が分担して授業を進めます。

【到達目標】 正確な発音と基礎文法を身につけることを目標とします。

【授業の計画】

1. ガイダンス・前期の復習
2. 8 課
3. 8 課 (続)・9 課
4. 9 課 (続)
5. 10 課
6. 10 課 (続)・11 課
7. 11 課 (続)
8. 中間試験
9. 12 課
10. 12 課 (続)・13 課
11. 13 課 (続)
12. 14 課
13. 14 課 (続)・15 課
14. 15 課 (続)
15. 期末試験
16. 総括授業

【教科書】 楊凱栄, 張麗群 『身につく中国語』 (白帝社, 2009), 2520 円。辞書に

ついては授業で指示する (必ず購入すること)。

【成績評価の方法】 教員二名がそれぞれ別個に評価し、合算して最終的な評価を決定します。(田中) の評価方法: 平常点約 15%, 中間試験約 35%, 及び期末試験約 50% を合計して評価します。

【再試験の有無】 有

【受講者のメッセージ】 間違えることを恐れずに積極的に中国語で話しかけてください。それが上達への近道です。欠席・遅刻はしないこと (特に第一回目はガイダンスなので必ず出席すること)。週一回のみの履修不可なので再受講希望者は要注意。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221269>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

⇒ 田中 (総合科学部 1 号館 2320 号, 088-656-7115, tomoyuki@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

【備考】 中国語入門を履修済みのこと。